

事業報告

令和7年度 第1回 大分県公立図書館等職員研修会

日 時 令和7年5月19日（月）10：00～16：00

会 場 大分県立図書館 1階 第2・3研修室

参加形態 ①集合型 ②オンデマンド参加（後日動画限定配信）

参 加 者 公立図書館等職員 40名（①17名 ②23名）

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、体系的に図書館サービスの基礎を学ぶ研修機会を提供することにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

<研修内容>

【講義1】 講義 「図書館サービスについて」

講師 県立図書館 サービス課 主任司書 山部 真子

講義内容

図書館の状況

図書館とは 図書館に関する法律

公立図書館に求められる役割 図書館に望まれる様々なサービス

カウンター業務 レファレンス（調査相談） 複写に関する著作権

【講義2】 講義 「児童サービスについて」

講師 県立図書館 サービス課 主任司書 江藤 志保

講義内容

児童サービスとは

資料について 図書館の読書環境づくり

子どもに本を手渡す手段 わらべうた実演

子どもと本をつなぐ人に読んで欲しい本

【講義3】 講義 「郷土資料について」

講師 県立図書館 サービス課 主幹司書 立川 由美

講義内容

郷土資料（地域資料）とは何か

なぜ図書館で郷土資料を収集するのか

郷土資料の収集 収集した資料の整理・保存

郷土資料を学ぶには

【講義4】 「市町村図書館における県立図書館活用方法について」
講師 県立図書館 学校・地域支援課 司書 堀本 結花

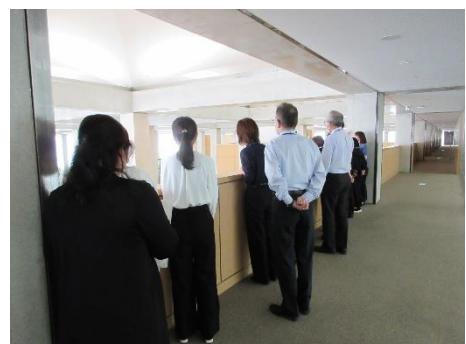
講義内容

貸出サービス（OLIB、団体貸出、相互貸借）

研修等（公立図書館等職員研修会、大分県図書館大会、巡回相談・司書等派遣）

その他のサービス

<当日の様子（写真）>



<参加者感想>

◇図書館の在り方や利用の仕方、職員としての在り方や資料・情報の内容、そして扱い方等、様々な内容を分かりやすく学ぶことができた。

◇図書館の基本的な資料の違いやそれぞれの収集の必要性をとても分かりやすく学ぶことができ大変有意義だった。

◇参考文献を含む資料全体が分かりやすかった。

◇図書館サービスについて、様々な面から学ぶことができ、勉強になった。

◇選書に関するリストも提示いただきありがたい。

◇郷土資料の定義等、知らなかつたことも多く、大変勉強になった。

◇初めて来館での研修だった。実際に館内を見学して回れたことがとても良かった。

◇最後の館内見学はありがたかった。オンデマンドでなく集合型に参加してよかったです。